

新年

26年



曾於市長

五位塚

剛



新年明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、健やかに

新年を迎えることとお慶び申し上げます。日頃より市政発展のため温かいご支援・ご協力に
対し心より感謝申し上げます。

私は昨年の市長選挙において、市民の皆さまのご信任をいただき、第2代曾於市長に就任いたしました。フラワーパーク建設事業中止や長寿祝い金全員支給、子育て支援対策、市長の4年ごとの退職金廃止、年金でも入れる老人ホーム建設などを中心とした政策を掲げました。本年も市民の皆さまの声を大事にし、住民参加型の市政運営を目指していきます。

本市におきましても、厳しい財政状況が続くことが予想されます。現状は、地方交付税に大きく頼らなくてはなりません。市としても節約の努力、市有地の貸付や処分など自主財源の確保に向けて努めてまいります。

また、人口の減少も大きな課題です。合併後8年間で人口は約4千人減少しました。将来のまちづくりを考えると、早急に人口増加対策へ取り組まなくてはなりません。

はなりません。

そのために、宅地分譲や保育料などの軽減、学童保育の充実、高校生等までの医療費の無料化、学力向上とスポーツの振興、雇用の確保など、活力あるまちづくりに向けて取り組んでまいります。

近年、畜産農家の高齢化にともない、生産農家の戸数が減少しています。曾於市は畜産の町です。今後も安定した経営ができるよう、農業後継者の育成事業の促進や、農家の方々の収入増加につながる取り組みを強く進めてまいります。

今年も市民の皆さまが、安心して生活ができるまちづくりに取り組んでまいります。また、お年寄りの皆さまは、グラウンドゴルフなどで地域の皆さんと交流を深め、健康的で長寿への自信と喜びにあふれる充実した一年を過ごしていただきたいと思います。

結びに、この一年が皆さまにとって健康で、幸多き年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

賀 謹 平成



曾於市議会
議長

谷口 義則



新年明けましておめでとうございませう。

市民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より市議会に対し、温かいご支援とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、11月に市議会議員選挙が執行され、定数が2人減の20人の議員により、新たな議会構成でスタートしたところです。

曾於市議会では、9月定例会において議会基本条例を制定し、二元代表制の下、市民の皆さまの多様な意見を把握しながら、より身近で開かれた議会を目指して活動してまいります。

市においては、3月に吉井淳二記念展が「吉井記念末吉町洋画展」として開催されてから30年を迎え、洋画展の歴史を振り返る「三十年のあゆみ」も同時に開催されるなど、絵心の浸透が図られました。

4月には市民の健康と福祉の増進・交流、健やかで共に支え合う福祉のまちづくりの核となる「そお生きいき健康センター」が開設され、多くの方が利用されております。

本年度からは岩川高等学校、財部高等学校、末吉高等学校の3高校の歴史と伝統を受け継ぎながら、笑顔輝き、夢かなう「曾於高等学校」が開校いたします。

地方においてはまだまだ厳しい行財政運営が続きますが、これから私ども議会の果たす役割が一層重要性を担ってけると感じております。

議会としましては、曾於市の発展はもとより、市民生活の安定、福祉向上を目的に適正な予算執行がなされているか、議会の使命である本市の具体的施策の最終決定と、市民の立場に立った監視について、真剣に取り組んでまいります。

また、市民の皆さまと意見交換をする議会報告会を本年度も開催いたします。どうか変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまにとりましてこの一年がすばらしい年でありますこと、曾於市の限らない発展をご祈念申し上げます。頭のごあいさついたします。